きまっちゃり検査技師が聞いてみたい



今回のインタビューは、地域連携相談センター 工藤 達郎 室長 に伺いました。

Q1… そもそも地域連携室って何をするところなんでしょうか?

A. 地域連携室は「患者さまを中心に自院、他院・他施設をつなぐ部署」です。病院や診療所からの連携を担い、患者さまがスムーズに医療機関へ受診・入院できるように、また医療機関から退院・転院することが出来るように、医療機関、介護施設をはじめ、行政や福祉に関わる多くの施設を繋ぐ役割を担っています。

Q2…どのような人たちが集まって仕事しているのですか?

A. 当院では、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務員が所属しています。

Q3… 地域連携室のやりがいってなんでしょうか?

A. 調整が出来て患者さまや医療機関などから感謝された時です。

Q4…休日の過ごし方を教えてください。

A. ドライブしながらホームセンター巡り、ラーメン屋です。

Q5… 好きなごはんのおかずは何ですか。理由もお聞かせください。

A. おかずではありませんがラーメンが好きです。理由は安くて色々な味を楽しめるからです。

ありがとうございました。それではまた次号でお会いしましょう。

お知らせ

練馬光が丘病院は今秋、新築移転します。 2022年10月11日(火) 外来診療開始



※旧病院での外来診療は、10月6日(木)で 終了です。

救急外来は別途対応致しますが、移転の 前後は多少診療制限する可能性もあり、 皆様にご迷惑をおかけするかもしれません。 ご理解・ご協力のほど何卒よろしくお願い 申し上げます。

階層構成



移転先住所:練馬区光が丘 2-5-1 (練馬区光が丘秋の陽小学校 西側)



練馬光が丘病院は「公益社団法人地域医療振興協会」の運営施設です。地域医療振興協会は、地域医療を取り巻くさまざまな問題を解決し、へき地を中心とした地域保健医療の調査研究および地域医学知識の啓発と普及を行うことを目的に1987年5月に設立され、2009年12月1日より公益社団法人として新たにスタートしました。地域医療に対する意欲と実績を持つ医師を中心に、つねに地域保健医療の確保と質の向上など住民福祉の増進を図り、地域間での医療の不均衡の解消、地域の振興を推進しています。

発行元: 練馬 衆が丘病院

〒179-0072 東京都練馬区光が丘 2-11-1 TEL:03-3979-3611(代) https://hikarigaoka-jadecom.jp/

きらきらしター

Kirakira-Letter 令和 4 年 9 月

公益社団法人地域医療振興協会練馬が丘病院広報紙

第77号



もくじ

病理診断科について ………… 2・3

ぽっちゃり検査技師が聞いてみた …… 4

お知らせ …… 4

病理診断科について

病理診断科 科長 小林 大輔

●病理診断とは

皆様は病理という部門をご存じでしょうか。私が医療関係ではない方に自己紹介したとき の感覚では、以前よりは随分認知されたという印象です。ドラマの主人公になったり、某子役(す でに女優?)の方が志望されたり、といったことが影響したのかもしれません。しかし、では、 どこで何をしているか、となるとまだまだ知られていないようです。

病理学という学問は、病気とは何か、どのようにして起こるのか、を探求する学問ですが、 病院で行う病理診断は、病理医が臓器やそれを作っている組織の形状を主に顕微鏡で見て 判断する診断のことです。病理診断を行うか、どこの組織をとるかは、外科や内科など診療科 の先生が決めていて、病理診断医は、基本的には患者さまの前に出ることはありません。この ため認知度が低いと思われます。

病理診断の対象となる臓器・組織は、皮膚から内臓、骨まで、頻度の差はあれ全身です。 一方、診断する病気には得手不得手があり、もっとも重要なのが腫瘍、いわゆるがんの診断です。 その他にも炎症の程度や種類、一部の感染症なども診断できます。

●病院における病理診断科の役割

臨床の先生が病理に依頼する検体には、大きく分けて 5 種類あり、それぞれで臨床の先生 が知りたい情報、つまり病理医が報告する内容が少しずつ異なります。

●細胞診

臓器や液体中のばらばらとなった細胞をみて診断します。下で説明する組織診に比べる と患者さまへの負担が少なく検体採取できるので、がんのスクリーニングにも利用されます。 最も一般的なのが子宮がん検診で、他にも尿や痰を使った診断もします。

●組織診

・生検検体

内視鏡や画像などで見つかった病変の診断をするときに行います。日本では消化管の内視鏡 が盛んなので、胃や大腸の潰瘍やポリープから採取されてくることが多いです。その他にも肺 や乳腺、前立腺などからも組織を採取できます。これらの臓器では、生検によってがんの確定 診断が行われます。

・手術検体

外科の先生が切除した臓器やその一部は、 がんでなくてもたいてい病理に提出されます。 がんで切除された症例では、がんの診断は もちろん、がんの広がりや手術で取り切れ たかの評価を行います。とくに、手術検体で 最終決定されるがんの進行度は、その後の 患者さまの予後を知る上で重要です。

手術検体(大腸がん)の病理診断ポイント 大腸がん

断端部分は正常粘膜で 腺管の形状が崩れていて腺がんは取り切れている 癌と診断される

• 術中迅速検体

手術の方針を決定する上でどうしてもその場で必要な情報を、手術中に診断して報告します。 診断する内容は主に3種類です。

がんの広がりがわかりづらい場合に、がんが取り切れているかの確認をします。

がんの手術では、その臓器とともに周囲のリンパ節も一緒にとるのですが、近くのリンパ節 を調べて、がんがなければリンパ節を残すこともあります。

手術前に牛検診断することが難しい臓器や病変では、手術中にがんを診断します。代表的な ところでは、肺の末梢、卵巣、脳などです。

●病理解剖

治療の甲斐なく不幸にして病院で亡くなってしまったときに、主治医の先生がご遺族の許可 を得て解剖を行うことがあります。

病理解剖の目的は、病気の診断や経過中の病態の推定、治療効果の評価、最終的な死因 の判定などさまざまで、解剖で得られた情報と臨床の経過を合わせることで、これらのことを ある程度推定できます。解剖の結果を患者さま本人にお返しすることはできませんが、主治医や 院内の医師が共有することにより、その後の医療の質の向上に貢献します。

●病理診断科のある病院のメリット

病理診断は検査会社に依頼して行うこともできるため、全ての病院に病理医がいるわけでは ありませんが、術中迅速診断や病理解剖は、その病院に病理医がいないと実施が困難です。

既に説明したように、一部の手術では高い精度を保つために術中迅速診断は必要不可欠 ですし、予想と状況が異なり、手術中に術中迅速が必要になることもあるので、常勤の病理医 がいる施設の方が安心して手術に臨めます。また、検査会社に依頼すると診断する病理医が 一定せず、診断の一貫性が失われたり、難しい症例を臨床の先生と病理医が相談しづらい といった弊害が生じる可能性もあります。

自分が病院にかかるときに、その病院や担当の科の評判を調べる人は多いと思います。 万が一、手術の可能性があるならば、病理診断科の有無や常勤の病理医にも着目してみて ください。